

自助

「一人一人の防災対策」

災害時には、まず、自分自身の命を守る行動をとることが大切です。各自が普段からの備えとして、家具の固定、避難時にすぐに持ち出すべき「非常持出品」や救済物資が届くまでに必要な「備蓄品」などを準備しておきましょう。

また、自宅近くの指定避難所・避難場所も確認し、いざというときの待ち合わせ場所や連絡方法など、家族で防災について話し合っておきましょう。

指定避難所

施設名	所在地	電話(06)
1 庭窪中学校	佐太中町 4-1-7	6902-6951
2 庭窪小学校	佐太中町 1-6-10	6901-2369
3 佐太小学校	佐太中町 6-11-51	6902-1171
4 藤田小学校	藤田町 1-58-18	6903-2321
5 金田小学校	金田町 3-11-11	6901-6667
6 梶小学校	梶町 4-79-12	6902-8300
7 よつば小学校	大久保町 2-17-26	6901-5425
8 大阪国際大学	藤田町 6-21-57	6902-0791
9 大久保中学校	大久保町 4-23-46	6902-1161
10 梶中学校	梶町 4-28-5	6902-0813
11 児童センター	金田町 1-4-1	6902-1006
12 東部エリアコミュニティセンター	大久保町 1南-27-6	6902-5500
13 第一中学校	竹町 12-29	6991-0680
14 守口小学校	八島町 13-40	6991-2367
15 八雲小学校	八雲西町 4-31-31	6991-2490
16 下島小学校	下島町 15-27	6993-0201
17 八雲東小学校	八雲東町 2-77-7	6909-3221
18 西部コミュニティセンター	文園町 8-8	6993-1341
19 八雲中学校	八雲西町 3-5-21	6992-3920
20 守口東高校	八雲中町 2-1-32	6906-8211
21 芦間高校	外島町 1-43	6993-7687
22 淀川工科高校	大阪市旭区太子橋 3-1-32	6952-0001
23 樟風中学校	西郷通 3-14-60	6992-7181
24 寺方南小学校	寺方元町 4-1-45	6991-0642
25 さくら小学校	東光町 2-1-4	6991-0313
26 大阪電気通信大学高校	橋波西之町 1-5-18	6992-6261
27 大阪国際滝井高校	馬場町 2-8-24	6996-5691
28 さつき学園	春日町 13-26	6991-0440
29 南部エリアコミュニティセンター体育室	大宮通 3-9-39	6997-4120
30 大阪国際大学松下町校地	高瀬町 4-1-19	6902-0791
31 錦小学校	寺方錦通 2-8-45	6998-3661
32 錦コミュニティセンター	菊水通 4-21-18	6991-1548
33 錦中学校	南寺方東通 4-1-31	6998-6610

一時避難場所・広域避難場所一覧

名称	所在地
1 佐太中央公園	佐太中町 6-44
2 金田第2公園	金田町 3-231
3 藤田公園	藤田町 2-138
4 金田公園	金田町 1-247
5 大日南公園	大日東町 88
6 梶第1公園	梶町 2-172
7 大久保中央公園	大久保町 4-207
8 下島公園	八雲北町 1-1
9 日吉公園	日吉町 2-15
10 松月公園	松月町 22
11 関西医科大学総合医療センター ホスピタルガーデン	文園町 10-15
12 たきい公園	文園町 9
13 大宮中央公園	大宮通 1-16-1
14 土居公園	小春町 5-8
15 菊水公園	菊水通 4-42
16 淀川河川公園	
17 鶴見緑地	
18 大枝公園	松下町 3

指定避難所開設の基準

地震の場合

守口市域または近隣地域で震度5弱以上の場合はすべての指定避難所を開設します。また、震度4以下の地震では、被害状況などを総合的に判断し、開設する指定避難所を決定します。

台風や長雨などでの自主避難の場合

すべての指定避難所を開設するわけではありません。地域のバランスなどを総合的に考慮して、台風の勢力やコースなどを判断しながら開設する指定避難所を決定します。

防災動画

より多くの市民の皆さんに防災について考え、取り組みを進めてもらうため、防災動画を作成しています。

災害の種類に応じた対策や、住宅の備えなどさまざまなトピックを動画でわかりやすく解説していますので、ぜひ活用してください。



YouTubeはこちら



ハザードマップ



ハザードマップには、避難所や避難場所をはじめ、安否確認方法など災害時に役立つさまざまな情報が載っています。いざというときの普段からの「備え」のため、今一度確認してみてください。



いまあらためて防災を考える

問 危機管理室 TEL 06-6992-1497

28年前の1月17日、阪神・淡路大震災が発生し、多くの人の日常が奪われました。また、平成30年には守口市でも震度5弱を観測した大阪府北部地震が発生しました。

近い将来、南海トラフ巨大地震が発生し、守口市も大きな被害を受けることが想定されています。

いつ起こるかわからない大地震への備えについて、今一度考えてみませんか。

南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震は「東海」「東南海」「南海」の3つの地震が連動した場合の最大規模の被害を想定した地震です。守口市は、全域震度6弱分布のエリアに位置しています。

守口市における被害想定

項目	震度・被害想定	項目	被害想定
最大震度	6弱	死者数	100人
全壊棟数	22,379棟	負傷者数	1,554人
半壊棟数	9,489棟	最大避難者数(避難所)	36,781人

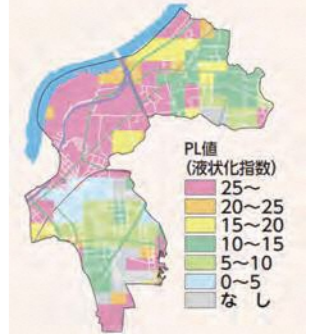
参考：大阪府防災会議(平成25年・26年)

また、守口市は地盤が弱く、大きな地震が発生した際には、地面が液状化し、マンホールが浮かび上がるなどの被害が生じるおそれがあります。

住まいの地域にどのような被害の特徴があるか、日頃から確認しておいてください。

PL値が大きいほど、液状化が起こりやすくなります

液状化マップ



公助

災害時の避難所開設

大規模災害や水害などの災害に備え、市では小・中学校などの公共施設や民間施設の合計33カ所を避難所に指定しています。

コロナ禍での避難所運営においては感染防止を行い、大規模災害時には、37.5度以上の発熱者または陽性者の濃厚接触者で健康観察中の人が避難した場合は、ただちに別室へ避難してもらいます。



災害による被害を少しでも軽減させるためには、自らの身を自らで守る「自助」、地域で助け合う「共助」、市や大阪府、国などの公的な機関が行う「公助」の3つが大切です。

阪神・淡路大震災では、救助された人のうち約9割が自助と共助によるものでした。

市では「公助」のためのさまざまな取り組みを進めていますが、命を守る上で「自助」「共助」が大きな役割を果たすため、日頃からの個人や地域での備えがとても重要です。



民間企業との協定

市では、災害時、民間企業が持つさまざまな資源を活用するため、迅速に対応できるよう協定を締結しています。

令和4年中に締結した協定一覧

社名	協定内容
大阪守口プラザホテル 大日駅前	火災等の被災者に対する緊急宿泊先確保の協力・連携に関する協定
株式会社バカン	災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定
株式会社スーパーホテル	火災等の被災者に対する緊急宿泊先確保の協力・連携に関する協定
一般社団法人 DPCA 一般社団法人 地域再生・ 防災ドローン利活用推進協会	災害時等におけるドローンを活用した支援活動に関する協定
飯尾電設株式会社	災害時等におけるドローンを活用した支援活動に関する協定
株式会社ほっかほっか亭 総本部	災害時における物資供給等に関する協定
一般社団法人守口市薬剤師会	災害発生時における医療救助及び医薬品等の供給に関する協定
社会福祉法人優喜会 指定介護老人福祉施設フローラル	災害発生時における指定福祉避難所の開設及び運営管理に関する協定
株式会社ケンショウ	災害時における換気装置等のレンタル資機材の提供に関する協定